

県民の森だより 12月号

2013年12月号 宮城県陸前町神谷沢字菅野沢41 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801

落葉樹は紅葉が終わると葉を落とし枯れ木のように見えますが、枝先の冬芽が春に備えて越冬中です。冬芽は、芽鱗でガードしたり、芽鱗にさらに粘液のバリアーを張ったり、ふさふさの毛を持つ芽鱗で覆って乾燥や寒さを防いでいます。また、葉を落とした後の葉痕は、動物や人の顔のように見えるものがあり、樹種によりさまざまな形をしています。散策時にちょっと立ち止まってじっくり観察してみてくださいはいかがでしょうか。

県民の森の年末・年始休園日について

県民の森は年中無休ですが、年末・年始に限り休園いたします。休園期間は12月29日(日)～1月3日(金)です。期間中は中央記念館や青少年の森の各種施設・駐車場は利用できませんのでご注意願います。

12月のイベント情報

日	時	イベント名	集合場所	申込要件	参加料
12/1 (日) 15 (日)	10:00~13:30	もりもり教室	青少年の森	事前申込親子	1日500円/人 15日350円/人
12/11 (水) 25 (水)	10:00~12:00	※ノルディックウォーク &ミニ植物観察	県民の森	初心者第2水曜日 第4水曜日	レンタルポール350円 マイボール持参250円
12/14 (土)	10:00~12:30	※万葉植物観察会	県民の森	特になし	300円
12/21 (土)	9:00~12:00	※季節を楽しむハイキング	青少年の森	特になし	250円
12/21 (土)	9:30~13:00	※森の癒し体験	県民の森	特になし	500円

申し込み・問い合わせ: 宮城県森林インストラクター協会 TEL: 022-255-8223 ※は県民の森管理事務所: TEL: 022-255-8801

第9回県民の森クリーンアップ作戦 11月23日(土) 9:00~14:00



宮城県森林インストラクター協会会員35名および利府町みどりの少年団員16名により、県民の森園内の不法投棄ゴミを回収しました。中央記念前広場の仮設ゴミ集積場所で、空缶やペットボトル・家庭用ゴミ・家具・布団・古タイヤ・テレビ・パソコンなどの不法投棄物を分別処理しました。震災前に比べ投棄量は少なめでしたが管理事務所では、これからも不法投棄防止の啓蒙に努め、綺麗な森を皆様に楽しんでいただけるようにしてまいります。

季節の移ろい: 渡り鳥(ジョウビタキ) & サザンカ

冬のたたずまいの園内は夏鳥から冬鳥に替わり、ジョウビタキやヒヨドリなどが、木の実などをさかんに啄んでいます。また、花のぞしいこの時期には、常緑の葉と伴に映えるサザンカの花がひときわ目を惹きます。

ジョウビタキ(スズメ目ツグミ科) 刷鵜 常鵜



冬期に見られる小形のツグミ類で、よく見かけ親しまれているのがジョウビタキです。雄はオレンジ色と銀白色の配色が美しく、俗に「紋付」といわれる翼の白斑が特徴です。羽を休めているときは尾を上下に振ります。この鳥は縄張り意識が強く、縄張りを主張する時には「ヒッ、ヒッ」と甲高い声で鳴き、鏡に映った自分の姿を敵と間違え攻撃する事もあるようです。ムラサキシキブやナンテンなどの木の実を好みます。名前は雄の頭が白っぽいことから、老人を意味する「刷」の「刷鵜」、また、「秋に常に来るヒタキ」から「常鵜」などの説があります。

サザンカ(ツバキ科) 山茶花



常緑の光沢のある濃緑色の葉を茂らせます。葉の光沢はクチクラ層(ロウ質)によるもので、水の蒸散や有害な紫外線から葉を守っています。本種は日本特産種で近縁のツバキとは、サザンカの花は花弁と雄しべがばらばらに散り、ツバキは萼から丸ごと散ることで区別できます。山茶花(さんちゃか)は漢名ではツバキのことでしたが、山茶を転倒した茶山花をサザンカと読んだもので、二重の間違いから生じた名前との説があります。

今月の万葉植物 ツバキ(ツバキ科)・椿・つばき



河の上の つらつら椿 つらつらに見れども飽かず 巨勢の春野は(春日老)

歌意: 「川のほとりに並んで咲き競う椿は、いつまで眺めていても飽きさせないほどで、奈良にある巨勢の春はほんとうに素晴らしいことよ」。

花一口メモ: 万葉集で詠われているツバキはヤブツバキのこと。自生の北限は青森県の夏泊半島で、本県では南山陸沿岸や松島に多く分布しています。ツバキの名は「葉に艶のある木」の意でツヤバノキの転化。小鳥が花の蜜を吸いに訪れ、花を傷だらけにしてしまうこともあります。ツバキはもともと花粉を鳥に運ばせる鳥媒花です。そのため鳥の重さに耐えられる丈夫な花弁と多量な蜜を用意しているのです。